

「東京ベイエリアビジョン」（仮称）の検討に係る官民連携チーム  
ワーキンググループ（第5回）議事要旨

**魅力あるまちづくりWG**

日時：平成31年2月20日（月） 10時00分～13時00分

場所：都庁第一本庁舎 11階11A会議室

＜WGでの主な意見＞

○インフラ（公園、水辺など）

- ・ エリアマネジメントの財源確保は、パーク PFI の活用も記載したい
- ・ 内海を中心として、周辺エリアが繋がるという方向性を提案の柱に据えたい

○エリアのネーミング、エリアの関係性

- ・ 臨海部の中心（台場、青海、有明等）のエリア ⇒ 内海オープンコア、オープン  
デスティネーションエリア、東京臨海リングなど
- ・ 臨海東側（新木場等）イノベーションエリア ⇒ 先端イノベーションエリアなど
- ・ 中央防波堤内側、外側などのエリア ⇒ フィールドエリア、フィールドなど
- ・ 各エリアが連携していることを示したい

○臨海部の中心（台場、青海、有明など）のエリア

- ・ 文化施設（主に劇場）は、大規模施設、中小規模施設ともにニーズがあるはずで、  
双方が混在することを示したい。また、都市的な環境における先端技術の実証実  
験を行うことを示したい
- ・ 2025年代までの主な取組として、まずは晴海の環境先進モデル住居や豊洲の食文  
化の拠点等の展開、エリア内の公園の活用などを示したい
- ・ 内海エリアを中心とした舟運ネットワーク形成とシャトルフェリーなどの整備も  
示したい。2030年代においては、築地との連携の取組を示す

○臨海部東側（新木場など）イノベーションエリア

- ・ 先端技術に限らず、まだ粗削りな技術や文化、伝統を活用した（例えば木材加工  
など）技術、アートなどの新しい試みを生み出すエリアという事を提案したい
- ・ 将来像の部分で、ベンチャーが交じり合って生まれていることを提案したい
- ・ 欧米では、住居や倉庫をリノベーションしてスタジオ等の創作活動に使用してお

- り、本エリアでも既存建物を活用してそのような用途で提案するのが良い
- ・周辺にスポーツ施設等も存在するため、公園やパブリックスペースで日常的にスポーツに触れられるという要素も加えられると特徴づけになる

#### ○中央防波堤内側、外側などのエリア

- ・科学的な実験ということに加え、農業などの実験があっても良い

#### ○ビジョン実現に向けた仕組みについて

- ・エリマネ等による創意工夫以前に、公共投資としてパブリックスペースの整備等を行うべきであり、前提として公共投資が必要である旨は明示したい
- ・公共投資を行ったうえで、エリアとしてのブランディングや価値向上の取組があり、その方法論としてエリマネが必要になる

#### <本日の議論のまとめ>

- ・総括会議第2回の開催に向け、本日の議論を資料に盛り込む

## **活力と躍動感のあるまちWG**

日時：平成31年2月15日（金） 14時00分～17時00分

場所：都庁第一本庁舎11階 11A会議室

### **<WGでの主な意見>**

- ・東京国際クルーズターミナルの手前など、世界からの玄関口となる場所に、地球再生のシンボルとなるアイコンを置けると、インパクトがあり面白い。
- ・内海から見た水際の景観形成などにより、水辺の魅力を最大限高めていきたい。
- ・地球環境を良くするために、地元へ愛着を持つことや、世界中のことを学ぶことが大事。ベイエリアで、ローカル&グローバルに人やモノとの繋がりを感じられるコンテンツがあると良い。
- ・スポーツといっても、単なるスポーツではなく、エンターテインメント型、ミッション志向型など広い意味で捉え、尖ったコンテンツを提案したい。
- ・世界中のマイノリティスポーツが集積したまちになると面白い。トレーニング、ウェルネス、食、アパレル、メディアなど様々な産業への波及効果も期待できる。
- ・産業面だけでなく、子供、高齢者、外国人等のあらゆる人が参加できるユニバーサルなスポーツを楽しめる場をつくり、スポーツの文化が根付くまちにしたい。
- ・「環境」と「スポーツ」それぞれの軸で提案しているが、「環境×スポーツ」のコンテンツも提案し、他の都市との差別化も図りたい。

### **<本日の議論のまとめ>**

- ・ベイエリアの独自性である「水辺」・「広大な空間スケール」・「東京2020大会競技施設のレガシー」の文脈を踏まえ、「環境」と「スポーツ」の提案の軸とする。
- ・環境軸のコンセプトは「東京発のアースリバイバル」とし、地球環境の再生を象徴する未来型都市としてブランディングしていきたい。スポーツ軸のコンセプトは「オンリー湾のスポーツまちづくり」とし、スポーツを通じたまちづくりで産業と文化を育み、新たな価値の創出を目指していきたい。

## **最先端技術のまちWG**

日時：平成31年2月19日（火） 9時30分～11時00分

場所：都庁第一本庁舎 6A会議室

### **<WG概要>**

- ・第2回提案に向けた方向性を共有し、今後の作業内容について確認した

### **<提案の全体構成>**

- ・ベイエリアの特性・課題から、4シーン（①羽田空港②タワーマンション③下町④新海面処分場）を選定
- ・各シーンで「こうなったらいいね」という未来像を描く
- ・シーン実現のための技術を提案するとともに、技術を導入するための課題を検討
- ・課題を克服するために必要な仕組み・制度を提案

### **<4シーン提案に当たっての視点>**

- ・ベイエリアの特性等を踏まえ、以下の視点を入れた提案を行う
  - ①羽田空港…空・海・陸が揃った立地、都心近い空港という視点
  - ②タワーマンション…臨海エリア全体の災害対応、エネルギーという視点
  - ③下町…狭あいな路地裏など、ハード整備だけでは解決が難しい課題を技術で解決するという視点
  - ④中央防波堤埋立地（XLエリア）…子供が技術に触れ合う機会、教育などの視点